

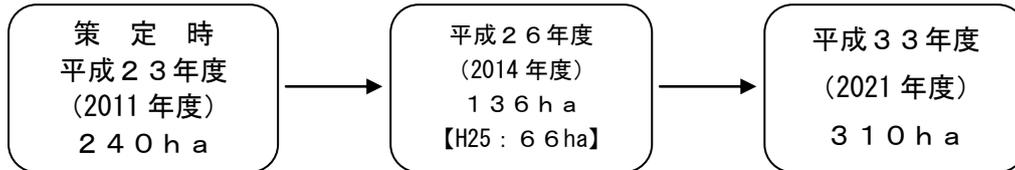
環境基本計画の年次評価報告書(平成27年度版)

☆基本目標：「多賀町の環境の保全と創造」

☆基本方針

1. 人にやさしい自然と共生したまち（自然環境）

環境指標 間伐実施面積（年間）



【評価】

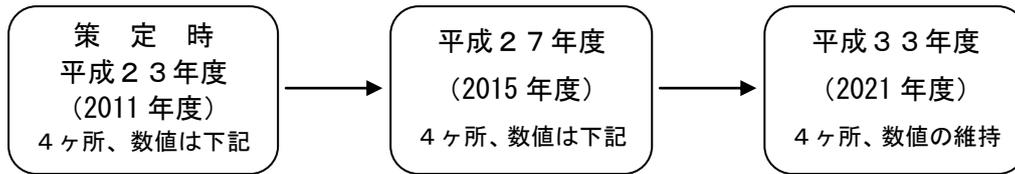
4.0点

【コメント】

- ◎補助制度上、搬出間伐が主流であるが奥地は切り捨て間伐ももっと進めるべきである。
- ◎2014年が136haとの事で順調に進めてもらっていると思います。目標と実施面積データについてもっとわかりやすい工夫をして、町民みんなが環境保全を応援できるよう進めてください。
- ◎前回と同様の数値である。普及活動と併せて順調に実施できるとよい。

環境指標 河川の水質調査

(基準値は計画書 P8 参照)



平成 23 年度 (6 月 13 日測定)

	犬上川	芹川	車戸川	太田川
pH	7.4	7.7	7.5	7.8
BOD	<1.0	2.6	1.6	2.3
SS	1.7	2	6.8	6.6
DO	9.7	8.1	8.8	8.5
水温	17	17	17	22

平成 27 年度 (6 月 8 日測定)

	犬上川	芹川	車戸川	太田川
pH	7.9	8.0	8.3	8.0
BOD	1.7	1.8	1.0	1.2
SS	<1.0	<1.0	1.4	2.6
DO	10	9.7	9.5	9.6
水温	16.9	17.5	18.0	18.4

※水質指標

pH…水素イオン濃度。pH=7 を中性とし、pH が小さくなるほど酸性を示し、pH が大きくなるほどアルカリ性を示す。

BOD…生物化学的酸素要求量。水中の有機物を分解するために微生物が必要とする酸素の量を表したもの。一般に、BOD の値が大きいかほど有機物が多く、その水質は悪いと言える。

DO…溶存酸素量。水中に溶けている酸素の量。一般に DO の値が小さいほど嫌気的な環境で、その水質は悪いと言える。

【評価】

3.8 点

【コメント】

◎ BOD・COD 共良好継続。

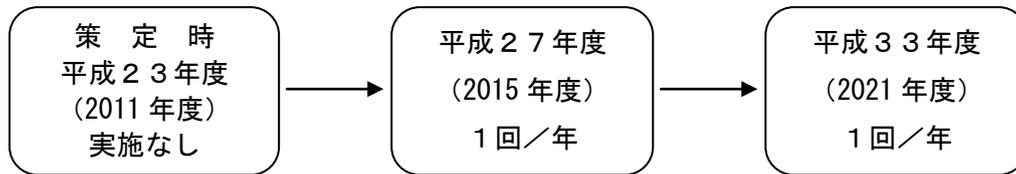
◎ 水質が良くなっているのか悪くなっているのか年々のグラフにして住民さんにも知ってもらっては。

◎ BOD、SS、DO とも数値は良くなっており、水質をきれいにしようという取り組みが定着してきているのかと思います。

◎ pH が全体的に高くなりつつある。BOD はかなり低くなってきて良くなってきている。SS が下がり DO が少し良くなってきている。

◎ pH の増加はなぜですか。

環境指標 河川清掃活動



【評価】

3.8点

【コメント】

◎実施された。

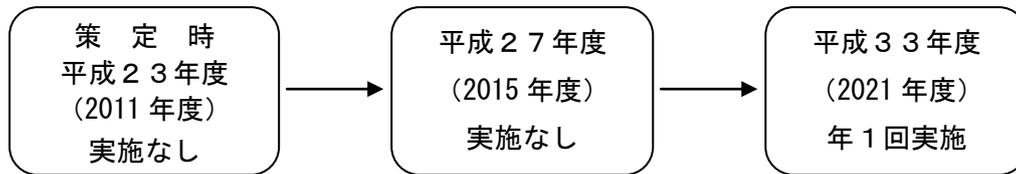
◎河川の中は危険がともなうが、住民が出来る事と、できない事があるのでは。

◎指標としての1回/年を達成しているということで評価できますが、その実施においてさらに広く多くの人に参加してもらえるように広報してもらうようにお願いします。

◎継続して実施し続けてほしい。

◎継続よろしくをお願いします。

環境指標 外来生物に関する住民参加型の調査



【評価】

2.0点

【コメント】

◎計画の実行を期待。

◎聞き取り調査だけでも実施をしては。

◎年1回の実施に向けてさらに努力をお願いします。またなぜ現在できていないのか、いつから実施できるようになるのかなどの報告もしてください。トンボやホタルの観察会が実施できているわけなので、まずは外来生物の観察会から始めてはどうでしょうか。

◎実施無しのため。

◎計画はどうなっていますか？

環境指標 獣害による農産物被害の減少



【評価】4.2点

- ◎最終目標（H33年度）2,000千円に近付いている。
- ◎たくさん電柵が出来たが、小規模（山村）のカバーも進めては。
- ◎電気柵の設置等で状況が大幅に改善されたと評価できます。
- ◎数字を見ると前年度より245万低くなっていて、効果があると考えられる。サルについては難しいと聞くが、集落周辺の点検を継続して実施する必要がある。駆除数が昨年よりかなり少なくなっている。
- ◎きびしい状況だと思います。

◇目標達成のために具体的に取組んだこと

●山の維持管理

- ・高取山ふれあい公園でのイベント（6月：ぶぶるツアー等）を実施した。
- ・山の所有者を確定させるため、GPS等を利用し、放置林防止対策境界明確化の取り組みを行った。

●川の維持管理

- ・芹川周辺集落や町内企業の人々協力による芹川一斉清掃活動を実施した。
- ・水質調査（芹川、犬上川、車戸川、太田川）を継続的に実施した。

●里の維持管理

- ・間伐材のペレット化を行っている。
- ・県立大学の学生に町産材で木製遊具を制作してもらい、町内の施設で活用してもらった。
- ・都会の中学生を町内の農家で受け入れる民泊（農村ホームステイ）を実施し、ありのままの暮らし（田舎の日常生活や家庭料理など）を体験してもらった。

●動植物の保護

- ・「外来生物に関する住民参加型の調査」については未実施であるが、トンボの観察会やホタルの観察会などは実施した。
- ・「多賀植物観察の会」主催で、多賀の花の観察会を実施した。

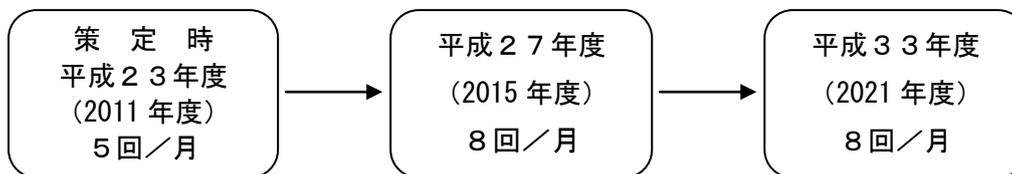
●獣害対策

- ・小規模農地（家の畑等）に獣害柵を設置した方に対する補助を実施した。
- ・猟友会の協力により、銃器やワナによるシカ・イノシシ・サルの駆除を行った。
（駆除数：シカ 306 頭、イノシシ 18 頭、サル 50 頭（平成 27 年 4 月～平成 28 年 2 月末現在））
- ・獣害防止柵の設置（一円、久徳、八重練）、緩衝帯の設置を行った。
- ・獣害対策として 2 名の臨時職員を雇用し、農地・里山周辺でのニホンザルの生息調査や集落周辺の点検を実施し、シカ・イノシシ・サルの追い回しを行い、また檻を仕掛けるなどの対策を行った。

☆基本方針

2. 誰もが安心していきいきと暮らせるまち（生活環境）

環境指標 クリーンパトロール実施回数



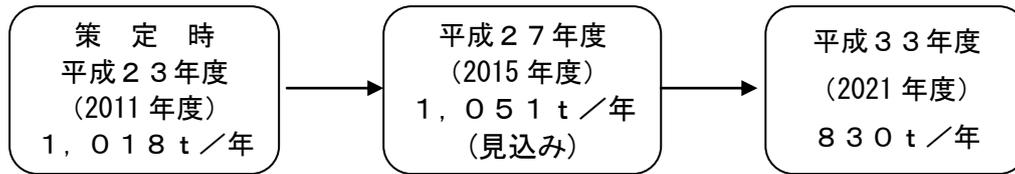
【評価】

3.8点

【コメント】

- ◎目標回収はクリア。最終的にはクリーンパトロールを行わなくても良い社会作りになればいいですね。
- ◎まだまだ、ポイ捨てや不法投棄が見られるが、以前より町がきれいになった。
- ◎評価できます。今後も引き続きクリーンパトロールの実施や看板の設置等の活動を進めていって下さい。
- ◎犬の糞害がかなりある。一応袋を以って歩いてはいるが、時々その袋をチェックすることも必要か？ポイ捨てもまだある。住民意識の向上をさらに進める必要がある。
- ◎ゴミが捨てられるのが困ります。パトロールで効果はどうなってますか。

環境指標 燃やすごみの処理量



【評価】

2.4点

【コメント】

- ◎広報等で減量の必要性を知らせてもらっていますが、その（減量）方法を今少し具体的に表せないでしょうか。
- ◎住民が減量を心掛けたい。資源ごみとして出せる種類を増やしては。
- ◎ごみ減量削減の目標が増加しているのではだめです。増えている原因の解析と明確な効果が出る対策の実施を行ってください。
- ◎H26年より20t増になっている。H33年度までの目標830tにもっていくには、相当厳しい状況である。今一度、具体的分別の啓発PRを強化する必要がある。
- ◎増加しているのはなぜですか、何か対策はしていますか。

環境指標 廃食油回収量



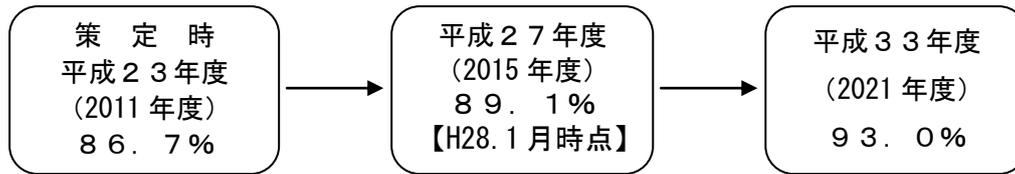
【評価】

2.6点

【コメント】

- ◎回収量が減っているのではだめです。更に積極的な取り組みをお願いします。
- ◎前回は見込数字だったが、少し減っている。家族構成の変化が影響か、原因は？
- ◎使用量が減っているのかもしれないので何とも分かりません。

環境指標 生活排水処理率



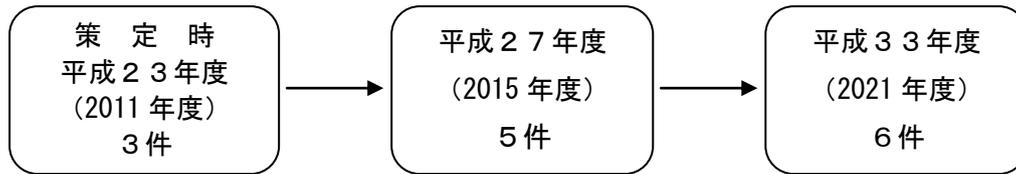
【評価】

4.2点

【コメント】

- ◎地域差があり難しいところですが努力して下さい。
- ◎山村地域の空家のカウントをどうするのか。
- ◎処理率が目標に向かって上がっていると評価できます。
- ◎高齢者・経済的な事情は厳しいと思うけど、少しではあるが数字が伸びている。このように引き続き継続的に取り組み努力を！
- ◎できる所はできているのでしょう。

環境指標 空き家の活用件数



【評価】

3.6点

【コメント】

- ◎現状即入居できる家、リフォームが必要な家建て替えて土地だけ、提供できる場に分類しては。
- ◎目標に向けて進めてもらっていると評価できます。
- ◎引き続き積極的に進めていってほしい。なお一層の努力を！
- ◎もっと活用しましょう。

◇目標達成のために具体的に取組んだこと

●不法投棄対策

- ・希望集落に不法投棄禁止看板、犬の糞害防止看板を配布した（広報誌でも啓発）。
- ・多賀町シルバー人材センターへの委託による不法投棄監視パトロールの月に8回実施した。
- ・個人を特定されるものが発見された場合、警察と連携しながら対応している。

●ごみの分別と減量

- ・多賀小学校で排出される残飯等を大型生ごみ処理機によって堆肥化した。
- ・家庭用生ごみ処理容器購入補助金を継続した。
- ・エコスタンプによるレジ袋の削減、マイバックの持参運動を継続した。
- ・事業所は事業系ごみとして排出するよう、啓発活動を行った。

●リサイクル

- ・粗大ごみ回収時に、使用済小型家電の分類を設け、小型家電リサイクルを実施した。
- ・使用済小型家電回収ボックスを町内4ヶ所に設置し、常時回収を行った。
- ・資源回収に係る子ども会、小・中学校PTA等への補助金を継続した。

●バイオマスの利活用

- ・生ごみ減量・堆肥化の意識啓発事業として、ダンボールコンポスト講習会を年1回行った。

- ・木質ペレットストーブ、薪ストーブなどの設置者に対する補助を行った。

- 水質汚濁対策

- ・事業所からの排水の適正な管理を促すため、県主導の工場立入調査に4回同行し、確認と指導を行った。
- ・一刻も早い下水道への接続を、チラシや区長会、行政ニュースで呼びかけた。

- 大気汚染対策

- ・野焼きを行った人に対し、法律違反であることを理解してもらうため、チラシを持参し説明を行った。
- ・前述の工場立入調査において、ばい煙等の排出状況についても確認と指導を行った。

- 騒音・振動・悪臭・光害対策

- ・前述の工場立入調査において、騒音・振動・悪臭の状況についても確認と指導を行った。

- 良好な景観形成（空き家対策）

- ・地域の空き家をシェアハウスとして県立大学の学生を住まわせて、地域の活性化を図るというモデル事業に取り組んでいる（八重練）。
- ・緑のふるさと協力隊、地域おこし協力隊の事業についても、空き家を提供していた。
- ・倒壊のおそれのある老朽化した空き家に対し、町で危険度を判定して取り壊すと決まった分について補助を出した（平成27年度は1件）。

☆基本方針

3. 歴史・文化・風土を大切にしまち（歴史文化環境）

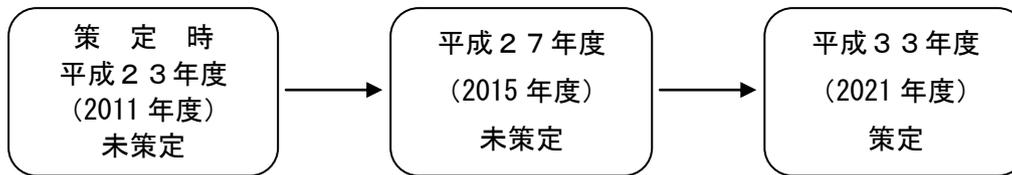
◇目標達成のために具体的に取組んだこと

- ・平成26年度に国名勝庭園の「胡宮神社社務所庭園」の保存管理計画書を作成し、平成27年は整備事業着手した。
- ・史跡周辺及び敏満寺遺跡の主要遺構残存地域の整備基本設計策定を行った。平成28年度は整備着手、追加指定調査着手する予定。
- ・町内遺跡の緊急開発に伴う事前の確認調査を随時実施し遺跡保護の対応を実施した。
- ・桃原城跡の確認調査を実施し、平成28年度に完了予定。
- ・平成26年度に宅地造成工事に伴う事前調査として土田遺跡の発掘調査を実施し、今年度は整理調査を行っている。
- ・多賀町史編纂事業として「多賀町史編纂を考える委員会」を設置し、町史編纂の進め方を検討し、基本資料の収集を始めた。今年度は委員会を9回開催、字別調査実施した。
- ・多賀町歴史文化基本構想の策定事業に着手し、平成29年度に完了する予定。

☆基本方針

4. みんなで地球を大切にすまち（地球環境）

環境指標 多賀町地球温暖化対策実行計画（区域施策編）の策定



【評価】

2.4点

【コメント】

- ◎第2次実行計画の策定を期待。
- ◎すべての貢献している現状を数値に表せないか。
- ◎未策定の一言では評価のしようがありません。今後どのようなスケジュールで策定するのか、道筋を早急にはっきりとしていってください。
- ◎未策定。
- ◎策定に向けて動きはどうなっていますか？

環境指標 温室効果ガスの排出削減量（公共施設）



※平成24年度末に第2次地球温暖化対策実行計画を策定し、対象施設を増やす等の見直しを行ったため、環境基本計画にある策定時の値から修正してあります。

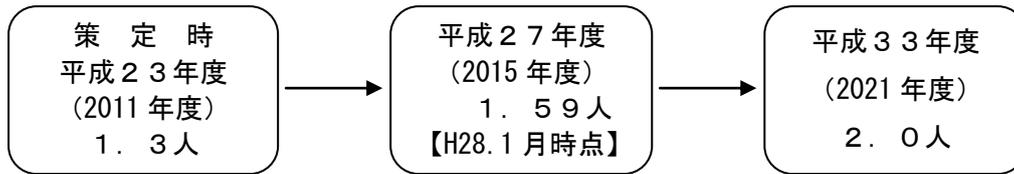
【評価】

4.2点

【コメント】

- ◎行政独自で削減を進めて実現して下さい。
- ◎昨年の6.7%に比べると大幅に進みました。評価できます。
- ◎H25年度の6.7%からH26年度の13.3%である。積極的な取り組みがうかがえる。なお一層の努力を。

環境指標 愛のリタクシー乗り合い人数



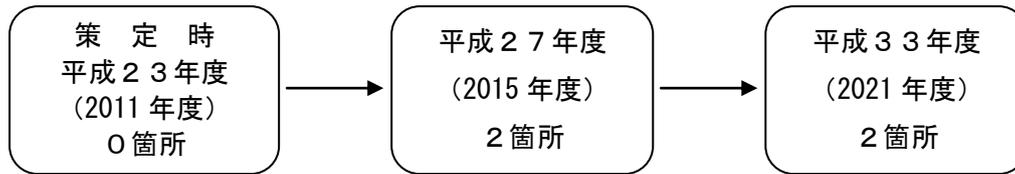
【評価】

3.6点

【コメント】

- ◎目標は多い方が良いが利用しにくくなるのでは。
- ◎昨年などに比べても少しずつ増えているのかとは評価します。さらにPRなど進めていってください。
- ◎少しずつ浸透している。さらに広く利用しやすいようにPR活動を。
- ◎もっと利用してもらえるといいですね。

環境指標 公共施設の太陽光発電設置箇所



【評価】

4.4点

【コメント】

◎ 2か所設置できたことは評価できます。今後はこの設置によりどれだけの発電ができたかなどPRを進めて下さい。

◎ 目標達成ですか。今後の効果のPRを。そして、今後の設置箇所等必要性和予定と計画は。

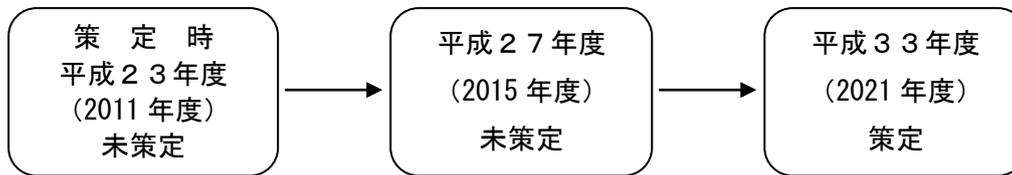
◇目標達成のために具体的に取り組んだこと

- ・ 公共施設（大滝小学校・多賀中学校、幼稚園、保育園）において、ゴーヤによる緑のカーテンの取り組みを実施した。
- ・ 第1次多賀町地球温暖化対策実行計画（事務事業編）においては、公共施設における温室効果ガスの排出削減に向けて、予定を上回るペースで削減が進められた。これを踏まえて、対象施設を増やした第2次多賀町地球温暖化対策実行計画を策定し、より意欲的な目標を取り入れ、目標を達成している。
- ・ 多賀町役場の屋根に太陽光発電設備を設置して稼働させた。
- ・ 住宅用太陽光発電システム等設置に対する補助を継続した。
- ・ 全庁的に、地域産材を利用して作られた「kikito用紙」を引き続き使用している。
- ・ コピー用紙の裏面利用、シュレッダーごみの資源化を実行中である。
- ・ 庁舎内の電灯を一部（不用と思われるところ60本ほど）間引いている。
- ・ 冷房については29℃までは点けず、終業1時間前には消している。

☆基本方針

5. みんなで環境について考えるまち（環境教育）

環境指標 環境学習推進計画の策定



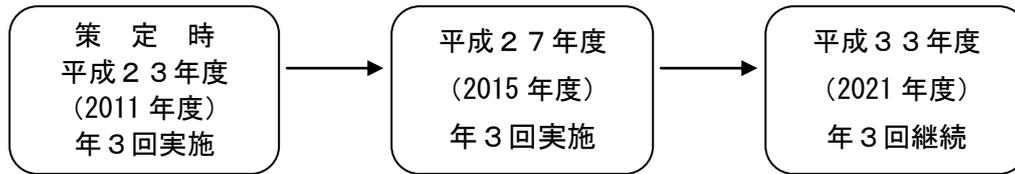
【評価】

2.6点

【コメント】

- ◎環境学習は未来に渡って重要だと思います。がんばってください。
- ◎小中学生には環境教育は必要だと思います。
- ◎2016年には策定して下さい。また、その内容を環境審議会でも報告をお願いします。
- ◎未策定。

環境指標 星空かんさつ会の実施



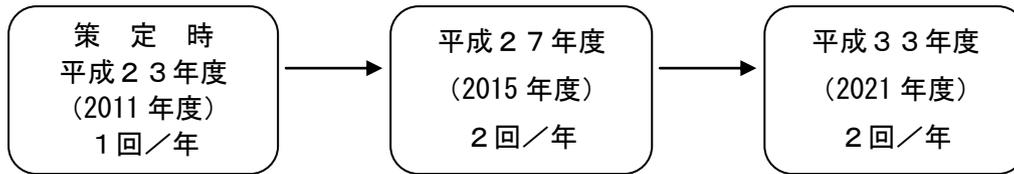
【評価】

4.2点

【コメント】

- ◎アストロドームでのかんさつを中心にとっても活発な活動でした。
- ◎天究館との連携を密にしてください。
- ◎実際には星空かんさつと共に夜の自然観察も一緒に行っています。今後さらに内容を深めていく取り組みを進めていきたいと思います。
- ◎「継続は力」天究館の活動紹介を！
- ◎参加者が固定化していませんか。

環境指標 環境イベント開催回数



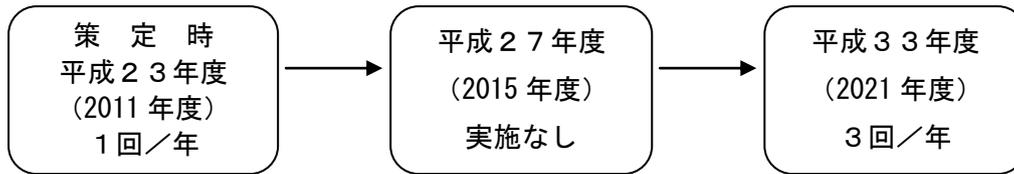
【評価】

3.8点

【コメント】

- ◎ふるさと楽市でのイベントは有効的です。
- ◎ふるさとまつりで環境コーナーを設けたり、高取との連携。
- ◎イベントが開催されていることは評価できますが、さらに多くの人が参加していくようさらに工夫して行ってください。
- ◎このまま継続を。

環境指標 出前講座実施回数



【評価】

2.2点

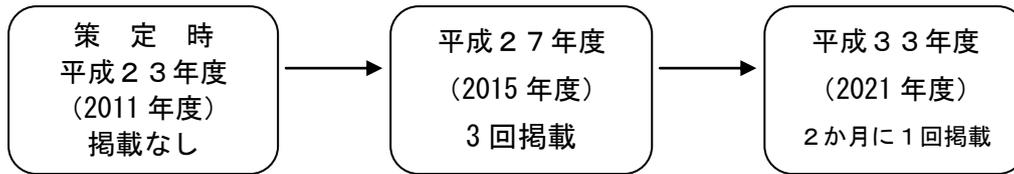
【コメント】

◎各字にも利用促進を。

◎「講座」というと堅いイメージになるので、もう少しやわらかいイメージでぜひ実施して下さい。

◎H26、H27年度と2年続けて実施なし。PR不足か。各字へ積極的にPRしてください。

環境指標 ホームページでの啓発



【評価】

4.0点

【コメント】

- ◎ぜひ積極的な啓発を進めていって下さい。またなるべくソフトでわかりやすく楽しい内容をお願いします。
- ◎今後も積極的に広報啓発して下さい。
- ◎反応はいかがですか。

◇目標達成のために具体的に取組んだこと

●環境学習の推進

- ・環境学習推進計画について、滋賀県の計画の内容確認、関係資料の収集をしつつあるが、策定には至っていない。平成28年度に策定予定。
- ・環境イベントについては、「ダンボールコンポスト講習会」を年1回開催し、多賀ふるさと楽市では滋賀県地球温暖化防止活動推進センターと共催で「家庭の省エネ診断」を実施し、同じくふるさと楽市で多賀町アストロクラブと共催でごみ回収パレードを実施した。
- ・湖東定住自立圏推進協議会や滋賀県が行う環境イベントについては、可能な限り広報のお知らせ欄に掲載した。
- ・星空かんさつ会については例年通り3回実施した。
- ・森林環境学習「やまのこ」事業については、高取山ふれあい公園で36校1,933名の受け入れを行い、森林の大切さを実感してもらった。
- ・多賀小学校と大滝小学校の6年生と漁業組合の協同で、イワナの放流と釣り教室を実施した。
- ・小学校5年生はうみのこ学習で、琵琶湖の生き物や水質について学んだ。
- ・小学校で下校時に清掃活動を実施し、自分で出したごみは自分で持ち帰るという意識づけを行った。
- ・小学校4年生の社会科で、リバーセンターの見学会を行い、ごみを減らそうとする思いを育成した。

●環境活動の推進

- ・ 5月のごみゼロ清掃活動の際、町から集落・事業所にごみ袋を配布し参加を促した。

●環境情報の提供

- ・ 町のホームページを利用した環境問題の啓発として、環境基本計画の年次評価結果、小型家電リサイクルの周知、事業所向けとして PCB を含む電気機器の適正管理について周知を行った。